

消費税率改定(5%→8%)に伴う刊行物の定価改定

単位:円

タイトル - 内容	平成26年3月までの価格		平成26年4月1日からの価格	
	定価(税込)	会員価格(税込)	定価(税込)	会員価格(税込)
■建物のライフサイクルと維持保全 —地球環境世紀のビル保全学入門— 維持保全を理解するための教材として、大学及び社内研修等に活用できるよう、基本的な概念や法規等をはじめ、建築物の運用・診断・改修、不動産証券化等の最近の動向や事例に至るまで、必要な要素を網羅したわかりやすい書籍	1,200	1,000	1,230	1,020
■新・LCC設計の考え方 建築設計、改修設計関係者が、優良建築ストックになりうる建物、ライフサイクルコスト(LCC)の低い建築物を計画・設計するに際して留意すべき点を網羅	5,250	4,725	5,400	4,860
■不動産投資・取引におけるエンジニアリング・レポート作成に係るガイドライン (2011年版) デュー・ディリジェンス業務の報告書であるエンジニアリング・レポート(ER)作成について、業務範囲、作成者の責任及び倫理、調査項目ごとの考え方を明確化し、初版時以後の関係法令、基準等を踏まえ、不動産の証券化市場が拡大(J-REIT等)する時代に対応した実務指針書	6,500	6,000	6,680	6,170
■タイル外壁及びモルタル塗り外壁定期的診断マニュアル (改訂第3版) 外壁診断指針に基づき、診断の進め方から評価・判定までの診断手法、及び定期報告制度との関係や、赤外線装置法等について解説を充実させた改訂第3版	2,200	1,700	2,260	1,740
■外壁の地震に対する安全性の評価方法・同解説 建築仕上診断技術者、特殊建築物等調査資格者等資格者が、外壁の地震に対する安全性を円滑に評価できるように、評価区画、外壁仕上げ工法等につき、報告書サンプル、写真、図表入りでわかりやすく解説	2,000	1,500	2,050	1,540
■建物管理者のための既存建築物簡易診断・評価システム (CD-ROM付き) 多数建物を所有している管理者を対象に、簡易かつ効率的に建物の現状を把握し、改修や用途変更の優先順位や予算確保の判断材料として活用できる、基本台帳・修繕履歴簿や各評価シートによって構成された、書籍及び付録CD-ROM(Windows2000・XP対応)	20,000	18,000	20,570	18,510
■建物診断のおすすめ 建築物の所有者、管理者向けに、資産価値や収益性のアップへとつながる診断の種類について、図表、写真入りでわかりやすく説明	500	400	510	410
■建築・設備の維持保全のレベルとこれをふまえた維持保全計画の策定 維持保全計画策定の際に検討すべき基本的項目や、具体的な維持保全の仕様等の水準(「高度なレベル」、「標準的なレベル」、「最低限必要とされるレベル」)を示した小冊子。	315	210	320	210
■より良いメンテナンスのための設計・施工10の原則 —不具合削減のためのメンテナンスからの提言— メンテナンスに係る不具合を低減するため、不具合事例等、維持管理の実体を具体的に紹介することにより、設計・施工の段階、維持保全の段階での配慮すべきポイントを判りやすくまとめた解説書	3,500	3,000	3,600	3,080
■PFI事業における維持保全のモニタリングガイド 建築・設備等を中心とした、建物の維持保全に関するPFI事業のモニタリングについて、現状の問題点、課題を解決するための方法、評価基準や結果の取扱い等につき、詳細に解説しており、通常の建物、ならびに指定管理者制度の維持保全にも参考となるガイドブック	3,000	2,500	3,080	2,570
■PFI事業の維持管理 —発注者のための15の提言・同解説— PFI事業を成功に導くために維持管理業務の視点から、発注者が注意すべき15の項目(VFM、性能発注の必要性、長期修繕計画の取扱い等)についてまとめた提言解説集	3,000	2,500	3,080	2,570
■建築・設備維持管理のしおり 建築物の所有者や一般の方向けに、建築物の維持管理の重要性やそのポイント、イラストや写真を多用してわかりやすく解説	840	630	860	640
■建築・設備維持保全計画の作り方・活用の仕方 「建築・設備維持保全計画の作り方」の最新改訂版。建築基準法第8条第2項に定められた「維持保全計画」の実際の作り方について、実際の建築物をモデルケースとして、計画策定に必要な基本条件の検討等を解説するとともに、新たに作成した計画書を如何に活用するかについても説明。今回は、維持保全業務にこれから取り組む方から、既に従事している方まで、幅広く実務者向けにわかりやすく解説し改訂。	3,675	3,150	3,780	3,240

<p>■ビルの資産価値を高める〈安心・快適〉運用マニュアルに基づく ビルのバリューアップの手引き</p> <p>「ビルの資産価値を高める〈安心・快適〉運用マニュアル(以下、マニュアル)」、「オフィスビルの戦略的な改修企画」の続編。ビルオーナーがビルの性能チェックができるよう、マニュアルのチェックリスト全74項目について、改修の必要性、チェック方法、最新ビルの仕様に改修するための手法等を分かりやすく解説</p>	3,000	2,500	3,080	2,570
<p>■オフィスビルの戦略的な改修企画</p> <p>オフィスビルのバリューアップを含めて、戦略的な改修をどのように企画するかについて多面的にとらえ、併せて事例紹介や関係資料等を整理。ビルの貸し方やテナント対応の他、ビルの競争力と性能設定、コストミナムな改修計画が図れるようなアドバイスや改修企画の検討手順等を掲載</p>	2,500	2,000	2,570	2,050
<p>■コンバージョン等の建築ストック有効活用の手引 —法令等をクリアするために—</p> <p>建物所有者、設計者が建築ストックの有効活用を考える上で必要な事項を網羅し、平成17年6月1日施行の改正建築基準法にも対応した最新ガイドブック。関連法令の主な改正経緯、改修の検討項目を建築基準法と関連づけた解説等を掲載</p>	3,000	2,500	3,080	2,570
<p>■避難安全検証によるビルリニューアル</p> <p>既存建築物改修の際、建築基準法の仕様規定に適合し、且つ合理的な設計を行うために必要な避難安全検証法の活用について、事例によるシミュレーションを含め実務者向けに解説</p>	3,500	3,000	3,600	3,080
<p>■避難安全検証・耐火性能検証を行った建物のリニューアルの進め方</p> <p>平成12年の建築基準法改正での防耐火・避難関連の性能規定化について、性能検証を行った建物の所有者等が、建物の火災安全性を維持したリニューアル計画を的確に行えるよう、概要や実際の留意点を解説</p>	600	500	610	510
<p>■わかりやすいマンション補修・改修の手引き</p> <p>マンション管理組合向けに写真や図版を多用してマンションの補修や改修の実際を分かりやすく解説</p>	900	600	920	610
<p>■平成19年度 改訂版 費用対効果分析に基づく公営住宅改善手法選択マニュアル</p> <p>公営住宅ストック総合活用計画において、全面的改善と位置付けられた住棟の最適改善手法評価を行う判断基準書として、団地単位での活用方策、改善事例等を加え、解説した改訂版</p>	2,100	2,100	2,160	2,160
<p>■地震に自信と安心を —ビルオーナーのためのわかりやすい耐震診断・改修の手引き—</p> <p>ビルの所有者向けに、耐震診断や改修の際に必要なポイントを紹介すると共に、ビルオーナーと設計者等、技術者との打合せ時のコミュニケーションがスムーズになる為のツールとして、耐震診断や改修の重要性から、実際の改修計画の進め方、耐震改修工法の基礎等までを幅広く網羅</p>	700	500	720	510
<p>■ビルの資産価値を高める〈安心・快適〉運用マニュアル</p> <p>建物の所有者・管理者向けに既存ビルをより安心(優良)なビルに変えるための、調査・リニューアル運営等の基本方針作成について、チェックリスト、評価方法等により分かり易く解説したチェックマニュアル</p>	600	500	610	510